

2010 なつ

あついなつ。うみ・すいか・はなび・・・わくわく・どきどき。
えほんの せかいにも すてきな なつが きみを まっているよ！！

このブックリストは出版社の許可を得て表紙を掲載しています

2010
国民読書年

2010年7月 発行
宮崎県立図書館 こどもしつ
でんわ(0985)29-2596



『かにこちゃん』

岸田衿子/さく 堀内誠一/え くもん出版 2008

ちいさい なみは しゃぶしゃぶ ぴしゃぴしゃ。おおきい なみは ど
どどど ざぶーん。まっかな かにの かにこちゃんの いちにちは、あさ
ひと ともに はじまって、ゆうひと いっしょに おわります。リズムカ
ルな ぶんしょうと、あざやかな いろで えがかれています。



『おぼけとぼく』

佐々木マキ/さく 福音館書店 2009

おぼけから「あした みずうみに いこう」という おさそいの てがみが
きたので、“ぼく”は、でかけることに しました。さあ、ピクニックの
はじまりです。どんなことが おきるのかな？「おに」「ばなな」「けん
だま」「とら」「ぼうし」「くじら」…絵文字の頭の音をひとつずつつないで
読む、まだ字がわからない子でも たのしめる絵本です。



『ぼくのわたしのこんちゅうえん』

小林俊樹/文 津田櫓冬/絵 福音館書店 2000

なつやすみは にわや こうえんなどを かんさつしてみよう。たくさん
の むしたちが くらしているはず。みぢかな むしの かんたんな かい
かたや あそびかたが しょうかいされている えほんです。



『なみとび』

八百板洋子/文 荒川暢/絵 福音館書店
(ちいさなながくのとも 2010年8月号)

はじめての うみは、なみの ふしぎに どきどきするもの。なみをよ
く かんさつして みましょう。そして、みんなで なみとびを してみ
て は どうでしょうか。



『なみ』

スージー・リー/作 講談社 2009

うみに やってきた おんなのこは、なみうちぎわで おおはしやぎ。よ
せては かえす おおなみ、こなみ。うみどりや かいがら。しろと くら
と あお、3しょくだけで えがかれた、もじの ない えほんです。



『まほうのタオル』

おのりえん/ぶん はたこうしろう/え フレーベル館 2009

おかきさんちの 4にんきょうだいは、マラソンたいかいに むけて れんしゅうちゅう。もっと はやく はしれるようになりたい じなんの まーは、とうさんに とくべつな れんしゅうを おしえてもらいます。そして とうとう マラソンたいかいの ほんばん！



『おつきょちゃんとかっぱ』

長谷川摂子/文 降矢奈々/絵 福音館書店 1997

おつきょちゃんと かっぱの ガータ口は、みずの なかの かっぱのくににあそびにいきます。よっかが すぎ、おうちに かえりたくなった おつきょちゃん。おうちに かえることができるのでしょうか？



『だいちゃんとうみ』

太田大八/著 福音館書店 1979

だいちゃんは、なつやすみに いとこの うちに あそびにいきます。うみで すごす いちにちが えにつきのようです。すこしまえの じだいの なつやすみの ふうけいですが、おやこで たのしんでほしい えほんです。



『おとうじゃ、ないって』

中村文人/文 村上康成/絵 佼成出版社 2009

キンセンイシモチから くちのなかに たまごを うみつけられてしまったウツボ。たまごが かえれば、たらふく さかなを たべられると おもったのに…「おとう！」「おとう！」とキンセンイシモチの こどもたち。「あー！おれはおとうじゃないって！！」



『オレンジいろのビーチサンダル』

市川宣子/文 菅野由貴子/画 福音館書店 2009

おねえちゃんと いっしょに はなびたいかいに きた ゆうちゃんは、ビーチサンダルに のっている、ちいさな おとこのこに であいます。ちいさな はなびを さかせてみせる おとこのこの しょうたいとは…？



『なつのゆきだるま』

ジーン・ジオン/作 マーガレット・プロイ・グレアム/絵 ふしみみさを/訳
岩波書店 2003

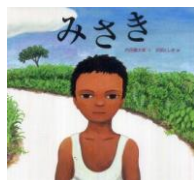
「おつきさまが、ゆきだるまを とかしちゃう！」
ふゆの おわりに つくった ちいさな ゆきだるまを、れいとうこに かく
した ヘンリー。7がつになってから、なつに ゆきだるまを みる かいを
おもいつきます。



『ちいさな島』

ゴールデン・マクドナルド/さく レナード・ワイズガード/え
谷川俊太郎/やく 童話館出版 1996

しぜんゆたかな ちいさな島に、いっぴきの こねこが わりました。
こねこは、島や いきものたちと せっしていくなかで、自然のなかに い
きている“自分”という そんざいを みつめなおします。1947年度コルデコット賞受賞作。



『みさき』

内田麟太郎/文 沢田としき/絵 佼成出版社 2009

夏。少年は、みさきへと はしりだします。はげしい あめも ふりだし
ました。みじかい ぶんしょうと ダイナミックな絵に あっとうされま
す。みて、かんじてほしい 絵本です。



『すばらしいとき』

ロバート・マックロスキー/ぶんとえ 渡辺茂男/やく 福音館書店 1978
やすみのあいだ しまに あそびにきた かぞくたち。だいしぜんと ふれあ
う すばらしいときを すごし、とうとう なつのおわりが やってきて、し
まを さる じかんに なりました—情感あふれる詩のような文章とあたか
もそこにいるかのように感じられる風景の絵が印象的です。



『ほくのうちに波がきた』

オクタビオ・パス/原案 キャサリン・コーワン/文 マーク・ブエナー/絵
中村邦生/訳 ポプラ社 2003

海から帰るときに、別れたくなくて、ほくについてきた波。ほくのうちに
毎日すごしていたのだけれども、波は海がこいしくなってきたみたい—キ
ャラクターとしての波の描かれ方がとてもユニークで、想像するのがたの
しい、読みごたえのある1冊です。ぜひ、親子で読んでみてください。